

第5回いわき景気ウォッチャー調査

平成15年2月調査結果(平成15年3月27日発表)

東日本国際大学 地域経済研究所

調査結果概要

現状判断DIは、“一段と後退している”とした前回調査(平成14年12月)に比べて若干上向きに転じ、前々回調査時(平成14年8月)の水準まで戻した。がしかし景気に分かれ目とされる50から大幅に低い30.9となっており、依然、景気悪化の状況下にあることには変わりがない。業種別にも全部門のDIはわずかながら上向いたものの、家計動向関連33.5、企業動向関連25.5及び雇用関連25.0と厳しい状況にある。なお、“やや悪くなっている”と“悪くなっている”とする景気ウォッチャーの回答割合では“悪くなっている”から“やや悪くなっている”へ若干シフトしている微妙な動きがみられるがこれを上向きへの胎動とみるのは早計であろう。

一方、2から3か月先の先行き判断DIは前回調査とほとんど変わりがなく、全業種で34.3と前回調査に比べて0.6%減少しただけであった。ただ、業種別に家計動向関連の飲食関連と住宅関連ではDIがそれぞれ25.0と18.8、対前回調査比で10.0と18.7と更なる悪化を予想しているのが際立っているなど業種間でばらつきがみられる。

調査結果

1. 現況判断

現状判断DIは、**全業種**で30.9と下降局面にあった前回調査(平成14年12月)に比べ6.9ポイント増加と若干上向き、前々回調査(平成14年8月)とほぼ同じレベルとなった。

業種別DIでは**企業動向関連**が25.0とほぼ前回調査の24.2と同水準であるほかは、**家計動向関連**は33.5(対前回調査9.3)、**雇用関連**が25.0(同6.2)とともにわずかながら上向きに転じている。なお家計動向関連の内訳では全部門で若干上向いており、その回復幅は**住宅関連**37.5が前回調査に比べて15.6、同じく**小売関連**33.3で10.6、**飲食関連**37.5で7.5、**サービス関連**30.8で5.8の順でそれぞれ増加している。

業種別構成比でみると、**全業種**で“やや悪くなっている”37.3%と“悪くなっている”22.0%と合わせ悪化しているとする割合は前回調査の68.3%より若干減少し59.3%となったが過半を占めているのには変わらない。ただ“悪くなっている”とする割合は前回調査40.5%から今回調査22.0%と18.5ポイント減少しており、悪化状況のなかでも“悪くなっている”から“やや悪くなっている”への微妙な動きがみられる。

業種別には、**家計動向関連**では、“ややわるくなっている”34.1%と“悪くなって

いる”19.5%とあわせ“悪くなっている”は53.6%と前回調査の67.8%よりやや減少しているものの過半が悪化して状況にあるのには変わりがない。ただ、“悪くなっている”の割合が前回調査に比べ22.7%減少しており、悪化している中で“悪くなっている”から“やや悪くなっている”へのわずかなシフトがみられる。内訳では小売関連とサービス関連で“悪くなっている”が前回調査に比べてそれぞれ28.8%と23.9%減少しており同じような動きになっている。

企業動向関連は“やや悪くなっている”50.0%と“悪くなっている”25.0%と合わせ、悪化しているのが75.0%と前回調査より6.2%増加している。ただ、家計関連と同様に“やや悪くなっている”が50.0%と前回調査より15.6%増加し悪化傾向の中での変化がみられるものの大きな動きではない。

雇用関連は、“やや悪くなっている”0.0%と“悪くなっている”50.0%とを合わせて50.0%が悪化しており、前回調査の75.0%より大幅に減少しているが、“変わらない”が50.0%と前回調査に比べ25.0%増加しており、“やや悪くなっている”が“変わらない”にシフトしただけのことであり。悪化の状況にあるのには変わらない。

2. 先行き判断

先行き判断DIは、全業種では34.3と前回調査に対して0.6ポイント減少しただけであり前回調査とほとんど変わらない。

業種別DIでは、家計動向関連が34.8と前回に比べ0.8ポイント減少したが、企業動向関連は34.4、雇用関連は25.0と両部門とも前回調査とほぼ同水準となっている。

家計動向関連の内訳では、小売関連38.9とサービス関連38.5が前回調査に比べそれぞれ3.7と2.8ポイントとわずかに増加している反面、飲食関連が25.0、住宅関連が18.8と前回調査に比べてそれぞれ10.0、18.7ポイント減少しており、より厳しい状況が予想されている。

業種別構成比では、全業種で“やや悪くなっている”25.4%と“悪くなっている”22.0%と合わせて47.4%が悪化するとみており、前回調査の46.1とほぼ同水準となっている。

業種別には、“やや悪くなる”と“悪くなる”とを合わせて悪化するとみる割合が、企業動向関連で43.8%と前回調査に比べ12.5%減少しているが、家計動向関連は48.8%と前回調査に比べ6.6%の増加、雇用関連は50.0%と前回調査とまったく同じとなっている。

ただ家計動向関連の内訳では、“やや悪くなっている”と“悪くなっている”とを合わせた悪化すると予想する向きをみると、小売関連では38.9%と6.6%減少しており悪化するとみる割合が若干減少しているものの、飲食関連66.7%、サービス関連46.2%と前回調査に対してそれぞれ6.7%、10.5%と悪化するとしており、住宅関連では75.0%が悪化するとみているなど業種間のばらつきが見られる。

・景気判断主要理由

(別冊)

表A 現状判断

・景気の現状判断DI（推移）

DI	02年2月	02年5月 (前回差)	02年8月 (前回差)	02年11月 (前回差)
合計	14.4	34.3	19.9	31.9
家計動向関連	15.1	32.8	17.7	33.2
小売関連	11.3	36.0	24.7	28.3
飲食関連	10.0	30.4	20.4	40.0
サービス関連	22.9	29.2	6.3	36.6
住宅関連	0.0	37.5	37.5	31.3
企業動向関連	13.8	38.5	24.7	24.0
雇用関連	25.0	37.5	12.5	75.0

DI	03年2月 (前回差)	03年5月 (前回差)	03年8月 (前回差)	03年11月 (前回差)
合計	30.9	6.9		
家計動向関連	33.5	9.3		
小売関連	33.3	10.6		
飲食関連	37.5	7.5		
サービス関連	30.8	5.8		
住宅関連	37.5	15.6		
企業動向関連	25.0	0.8		
雇用関連	25.0	6.2		

・景気の現状判断：業種別構成比（今回分）

区分	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	DI
合計	0.0%	5.1%	35.6%	37.3%	22.0%	30.9
家計動向関連	0.0%	7.3%	39.0%	34.1%	19.5%	33.5
小売関連	0.0%	5.6%	38.9%	38.9%	16.7%	33.3
飲食関連	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	37.5
サービス関連	0.0%	0.0%	38.5%	46.2%	15.4%	30.8
住宅関連	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	37.5
企業動向関連	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0
雇用関連	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0

・景気の現状判断（構成比推移）

1. 全体

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	1.7%	16.4%	31.0%	19.0%	31.9%
	8	0.0%	9.8%	34.3%	29.4%	26.5%
	11	0.0%	4.8%	27.0%	27.8%	40.5%
	(前月差)	0.0%	-5.0%	-7.3%	-1.6%	14.0%
03	2	0.0%	5.1%	35.6%	37.3%	22.0%
	(前月差)	0.0%	0.3%	8.6%	9.5%	-18.5%

2-1. 家計動向

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	2.3%	15.1%	29.1%	18.6%	34.9%
	8	0.0%	9.2%	38.2%	28.9%	23.7%
	11	0.0%	6.7%	25.6%	25.6%	42.2%
	(前月差)	0.0%	-2.5%	-12.6%	-3.3%	18.5%
03	2	0.0%	7.3%	39.0%	34.1%	19.5%
	(前月差)	0.0%	0.6%	13.4%	8.5%	-22.7%

2-1-1. 小売関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	5.9%	20.6%	17.6%	23.5%	32.4%
	8	0.0%	3.3%	33.3%	36.7%	26.7%
	11	0.0%	9.1%	18.2%	27.3%	45.5%
	(前月差)	0.0%	5.8%	-15.1%	-9.4%	18.8%
03	2	0.0%	5.6%	38.9%	38.9%	16.7%
	(前月差)	0.0%	-3.5%	20.7%	11.6%	-28.8%

2-1-2. 飲食関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	21.4%	21.4%	14.3%	42.9%
	8	0.0%	40.0%	10.0%	20.0%	30.0%
	11	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%
	(前月差)	0.0%	-20.0%	10.0%	0.0%	10.0%
03	2	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%
	(前月差)	0.0%	13.3%	-3.3%	-3.3%	-6.7%

2-1-3. サービス関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	6.7%	43.3%	10.0%	40.0%
	8	0.0%	7.1%	50.0%	25.0%	17.9%
	11	0.0%	0.0%	39.3%	21.4%	39.3%
	(前月差)	0.0%	-7.1%	-10.7%	-3.6%	21.4%
03	2	0.0%	0.0%	38.5%	46.2%	15.4%
	(前月差)	0.0%	0.0%	-0.8%	24.8%	-23.9%

2-1-4. 住宅関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%
	8	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
	11	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%
	(前月差)	0.0%	0.0%	-25.0%	12.5%	12.5%
03	2	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	50.0%	-37.5%	-12.5%

2-2. 企業動向

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	23.1%	34.6%	15.4%	26.9%
	8	0.0%	4.2%	25.0%	33.3%	37.5%
	11	0.0%	0.0%	31.3%	34.4%	34.4%
	(前月差)	0.0%	-4.2%	6.3%	1.1%	-3.1%
03	2	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	-6.3%	15.6%	-9.4%

2-3. 雇用動向

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	8	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	11	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%
	(前月差)	0.0%	-100.0%	25.0%	25.0%	50.0%
03	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	25.0%	-25.0%	0.0%

表B 先行き判断

・景気の先行き判断DI (推移)

DI	02年2月	02年5月	(前回差)	02年8月	(前回差)	02年11月	(前回差)
合計	27.8	46.6	18.8	43.6	-3	34.9	-8.7
家計動向関連	33.6	45.9	12.3	42.8	-3.1	35.6	-7.2
小売関連	25.0	47.1	22.1	41.7	-5.4	35.2	-6.5
飲食関連	30.0	39.3	9.3	45.0	5.7	35.0	-10.0
サービス関連	39.6	46.7	7.1	44.6	-2.1	35.7	-8.9
住宅関連	50.0	50.0	0.0	37.5	-12.5	37.5	0.0
企業動向関連	17.5	50.0	32.5	50.0	0.0	34.4	-15.6
雇用関連	37.5	37.5	0.0	50.0	12.5	25.0	-25.0

DI	03年2月	(前回差)	03年5月	(前回差)	03年8月	(前回差)	03年11月	(前回差)
合計	34.3	-0.6						
家計動向関連	34.8	-0.8						
小売関連	38.9	3.7						
飲食関連	25.0	-10.0						
サービス関連	38.5	2.8						
住宅関連	18.8	-18.7						
企業動向関連	34.4	0.0						
雇用関連	25.0	0.0						

・景気の先行き判断：業種別構成比（今回分）

区 分	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
合計	0.0%	6.8%	45.8%	25.4%	22.0%	34.3
家計動向関連	0.0%	9.8%	41.5%	26.8%	22.0%	34.8
小売関連	0.0%	11.1%	50.0%	22.2%	16.7%	38.9
飲食関連	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	25.0
サービス関連	0.0%	7.7%	46.2%	38.5%	7.7%	38.5
住宅関連	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	18.8
企業動向関連	0.0%	0.0%	56.3%	25.0%	18.8%	34.4
雇用関連	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0

・景気の先行き判断（構成比推移）

1．全体

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	5	0.0%	17.2%	58.6%	17.2%	6.9%
	8	2.0%	5.9%	68.6%	11.8%	9.8%
	11	0.0%	3.2%	50.8%	28.6%	17.5%
	(前月差)	-2.0%	-2.7%	-17.8%	16.8%	7.7%
03	2	0.0%	6.8%	45.8%	25.4%	22.0%
	(前月差)	0.0%	3.6%	-5.0%	-3.2%	4.5%

2-1．家計動向

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	5	0.0%	14.0%	62.8%	16.3%	7.0%
	8	0.0%	5.3%	73.7%	7.9%	13.2%
	11	0.0%	4.4%	53.3%	22.2%	20.0%
	(前月差)	0.0%	-0.9%	-20.4%	14.3%	6.8%
03	2	0.0%	9.8%	41.5%	26.8%	22.0%
	(前月差)	0.0%	5.4%	-11.8%	4.6%	2.0%

2-1-1．小売関連

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	5	0.0%	17.6%	58.8%	17.6%	5.9%
	8	0.0%	6.7%	66.7%	13.3%	13.3%
	11	0.0%	4.5%	50.0%	27.3%	18.2%
	(前月差)	0.0%	-2.2%	-16.7%	14.0%	4.9%
03	2	0.0%	11.1%	50.0%	22.2%	16.7%
	(前月差)	0.0%	6.6%	0.0%	-5.1%	-1.5%

2-1-2. 飲食関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%
	8	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%
	11	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	-40.0%	40.0%	0.0%
03	2	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%
	(前月差)	0.0%	-3.3%	-3.3%	-23.3%	30.0%

2-1-3. サービス関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	6.7%	80.0%	6.7%	6.7%
	8	0.0%	0.0%	85.7%	7.1%	7.1%
	11	0.0%	0.0%	64.3%	14.3%	21.4%
	(前月差)	0.0%	0.0%	-21.4%	7.2%	14.3%
03	2	0.0%	7.7%	46.2%	38.5%	7.7%
	(前月差)	0.0%	7.7%	-18.1%	24.2%	-13.7%

2-1-4. 住宅関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	25.0%	50.0%	25.5%	0.0%
	8	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
	11	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
03	2	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	-50.0%	25.0%	25.0%

2-2. 企業動向

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	30.8%	46.2%	15.4%	7.7%
	8	9.1%	9.1%	54.5%	27.3%	0.0%
	11	0.0%	0.0%	43.8%	50.0%	6.3%
	(前月差)	-9.1%	-9.1%	-10.7%	22.7%	6.3%
03	2	0.0%	0.0%	56.3%	25.0%	18.8%
	(前月差)	0.0%	0.0%	12.5%	-25.0%	12.5%

2-3. 雇用動向

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	5	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	8	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	11	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	-50.0%	0.0%	50.0%
03	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(以上)

1. 全国経済・景気動向

(1) 月例経済報告(平成15年3月発表) <要約>

基調判断:

景気は、おおむね横ばいとなっているが、イラク情勢等から不透明感が増している。

分野別判断:

企業収益は改善しており、設備投資は持ち直している。

雇用情勢は、求人が増加傾向にあるものの、失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。

個人消費は、おおむね横ばいで推移するなかで、足元弱い動きがみられる。

輸出は横ばいとなっている一方、生産は弱含んでいる。

先行き判断

先行きについては、アメリカ経済の回復が持続すれば、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、イラク情勢等からくる不確定性の高まりや世界的な株価の低迷の中で、我が国の最終需要が下押しされる懸念が強まっている。

(2) 景気ウォッチャー調査(平成15年2月調査結果) <要約>

現状判断 DI:

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断 DI は、前月比で2.8ポイント上昇し、38.3となった。

家計動向関連 DI は、全般的には消費者の購買態度が慎重に推移しているものの、小売関係の一部では客単価に下げ止まりの動きがみられたことにより上昇した。また、製造業の一部が比較的好調だったこと等により企業動向関連 DI が上昇し、雇用関連 DI も求人増加により上昇した。この結果、現状判断 DI は全地域で上昇し、全国では6か月ぶりの上昇となった。また、横ばいを示す50を31か月連続で下回っている。

先行き判断 DI:

2～3か月先の景気の先行きに対する判断 DI は、40.8となった。

企業動向関連は横ばいであったものの、家計動向関連、雇用関連の DI が上昇したことから、前月を0.88ポイント上回り、2か月連続の上昇となった。また、横ばいを示す50を29か月連続で下回っている。

2. 福島県経済・景気動向

(1) 経済動向(平成15年2月24日公表) <要約>

県内の景気は、生産活動の回復が続いているものの、雇用情勢・個人消費は依然低調に推移しており、引き続き厳しい状況にある。

個人消費:

大型小売店販売額(12月)は総額約248億円(速報値)となり、前年同月比(店舗調整後)で3.5%減少し、2か月振りに前年を下回っている。内訳をみると、百貨店は

衣料品、飲食料品、家庭用品、食堂喫茶で前年を下回ったため、前年同月比で5.0%減少し、スーパーは衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品で前年を下回ったため、同3.0%減少している。

乗用車新規登録台数(1月)は5,371台となり、前年同月比で0.6%減少し、2か月連続で前年を下回っている。

建設需要

新設住宅着工戸数(12月)は総戸数1,182戸となり、前年同月比で9.5%減少し、4か月連続で前年を下回っている。

公共工事請負金額(1月)は総額約138億円となり、前年同月比で2.0%増加し、2か月振りに前年を上回っている。

業務用建築物着工棟数(12月)は120棟となり、前年同月比で18.8%上昇し、2か月振りに前年を上回っている。

生産活動

鉱工業生産指数(12月)は102.1(速報値)となり、前年同月比で14.5%上昇し、9か月連続で前年を上回っている。

投資財生産指数(12月)は71.5(速報値)となり、前年同月比で0.7%低下している。

消費財生産指数(12月)は112.6(速報値)となり、前年同月比で2.6%上昇し、3か月連続で前年を上回っている。

鉱工業出荷指数(12月)は116.4(速報値)となり、前年同月比で12.7%上昇し、11か月連続で前年を上回っている。鉱工業在庫指数(12月)は97.0(速報値)となり、前年同月比で0.2%低下し、3か月振りに前年を下回っている。

大口電力使用量(12月)は前年同月比で8.5%増加し、6か月連続で前年を上回っている。大口契約最大電力(12月)は前年同月比で0.7%増加し、2か月連続で前年を上回っている。

雇用・労働

新規求人倍率(12月)は0.88倍(季節調整値)となり、前月と同水準となっている。

有効求人倍率(12月)は0.53倍(季節調整値)となり、前月比で0.02ポイント上昇した。

雇用保険受給者実人員(12月)は16,682人となり、前年同月比で18.7%減少し、3か月連続で前年を下回っている。

現金給与総額指数(名目)(12月)は175.4となり、前年同月比で7.8%低下し、2か月振りに前年を下回っている。

物価

企業物価指数(全国・1月)は95.1(速報値)となり、前年同月比で1.0%低下している。

消費者物価指数(福島県・12月)は98.0となり、前年同月比で0.5%低下している。

企業・金融

企業倒産(1月)は、件数が22件で、前年同月比で69.2%増加している。

倒産件数を業種別にみると、建設関係が9件で最も多くなっている。また、理由別に主なものをあげると、販売不振が16件となっている。

中小企業の業況

県内中小企業の業況感を表すDI値(1月)は43.6となり、前月に比べ0.9ポイント悪化している。業種別にみると、サービス業、小売業で改善したものの、卸売業、建設業、製造業で悪化している。

(2) 景気動向指数(平成15年3月5日公表) <要約>

概括

12月の景気動向指数(DI)は、先行指数50.0%、一致指数37.5%、遅行指数16.7%となった。

先行指数は、11月に50%を下回った後、50%となった。

一致指数は、12か月振りに50%を下回った。

遅行指数は、4か月連続で50%を下回った。

個別系列の動向

1) 先行系列:

所定外労働時間(製造業)、不渡手形金額はマイナスからプラスとなった。新規求人倍率はプラスから保合いとなった。また、在庫率指数(鉱工業)は4か月連続、中小企業業況判断DIは2か月連続のプラスとなった。

一方、生産指数(投資財)はプラスからマイナスとなった。また、第2地銀・信金・信組貸出残高は5か月連続、自動車新規登録台数、新設住宅着工床面積は2か月連続のマイナスとなった。

2) 一致系列

大口電力使用量は11か月連続、有効求人倍率は10か月連続、雇用保険受給者実人員は6か月連続のプラスとなった。

一方、生産指数(鉱工業)、建築着工床面積(鉱工業)はプラスからマイナスとなった。また、手形交換金額は3か月連続、出荷指数(鉱工業)、大型小売店販売額は2か月連続のマイナスとなった。

3) 遅行系列

消費者物価指数は2か月連続のプラスとなった。一方、実質農家家計現金支出はプラスからマイナスとなった。また、常用雇用指数(製造業)は55か月連続、製品在庫指数(鉱工業)は4か月連続、法人事業税(調定額)は3か月連続、保証申込額は2か月連続のマイナスとなった。

(以上)